

はじめに 5

第一章 インダス文明の発見と研究の現状

- プロローグ 南アジアで遺跡を発掘する 19 / 文明発見前史 21 / ハラッパーとモヘンジョダロの発見 23 / 初期の研究 26 / ウィーラーによる層位的発掘 27 / インド・パキスタン独立後の調査 29 / 「初期ハラッパー文化期」の提唱 30 / 新しい研究の登場 32 / 現在の研究動向 33 / デジタル技術と考古学 35 / 編年研究の不在 36 / 広域型文明研究の難しさ 38 / 新たなインダス文明像の構築 40

第二章 インダス文明の成立過程

- プロローグ 都市と農村 43 / インダス地域の自然環境 45 / メヘルガル遺跡の調査成果 48 / 内在的發展と外部からの影響 58 / 土器にみる地域社会群の様相 61 / 印章からみたイラン高原とインダス地域 68 / 拡大する地域間交流 75 / 地域社会間関係の再編 78

### 第三章 インダス文明社会の発達と展開

- プロローグ 現代に残る伝統工芸 83 / インダス文明期の遺跡調査の現状 85 / インダス文明社会の景観 86 / 都市のかたち 91 / 建築用材の多様性 95 / 都市を統べるもの 95 / 都市民の生活空間 99 / インダス文明社会の葬制 109 / 人骨の分析からみた人の移動 114 / インダス文明期の食料生産 115 / インダス文明期の編年 117 / 工芸品生産がもつ意味 121 / 素材の偏在性 123 / ハラッパー式土器の成立 125 / ハラッパー式土器の広域拡散 129 / 文明期後期におけるハラッパー式土器の変化 131 / 土器にみる地域間関係の複雑さ 134 / 装身具の生産と流通 138 / カーンバートのビーズづくり職人 139 / インダス文明期の装身具の特徴 142 / インダス文明期の穿孔技術 147 / ファイアンス製装身具の増加と装身具流通システムの变化 153 / インダス文明期の印章 155 / インダス式凍石製印章の出現と展開 157 / 動物文印章の多様性 160 / 凍石製方形印章の変化 162 / 未解読のインダス文字 167 / インダス文明と周辺地域の関係 169 / バハレーン島におけるインダス系器物 172 / インダス地域とアラビア半島の交流 183 / インダス地域と中央アジアとの関係 187

### 第四章 インダス文明社会の衰退とその後

- プロローグ 移動と定住 195 / 都市社会の衰退をいかに把握するか 197 / 印章がなくなることの意味 197 / 文字の消滅が物語ること 201 / インダス文明の衰退要因をめぐって 204 / 環境変化による文明社会の

衰退 207／暴力と疾病の増加 208／遺跡分布の変化 211／資源利用の変化 211／土器の変化と社会の再編 214／文明終末期における海洋交易の意味 220／新しい社会の出現 222

## 第五章 インダス文明の歴史的意義

プロローグ 南アジアの人々の国際性 229／インダス文明社会の構造 231／広域型都市社会を支えたもの 233／インダス文明の宗教世界 235／「西南アジア文明世界」の中のインダス文明 241／インダス文明後の「南アジア世界」 245／都市社会の形成が地域社会に与えた影響 249

おわりに 255

あとがき 261

挿図の出版 267

参考文献 283